

平成17年管内ガス事故発生状況

< 那覇産業保安監督事務所 >

平成17年の事故概要

1. 一般ガス事業

【テーブルコンロ器具栓不完全閉止に伴う生ガス吸入CO中毒】

事故発生日：平成17年12月29日(木)

那覇市内のアパートの一室において、当該住人がコンロ使用後不完全閉止の状態で見守り、CO中毒（負傷者2名）に至ったが命に別状はなかった。当該室のガス漏れ警報器は前日にコンセントを外していたが、隣室のガス漏れ警報器が作動したことにより、ガス事業者へ通報があった。

再発防止対策として、立ち消え安全装置付きテーブルコンロへの取り替えを行った。また、立ち消え安全装置が付いていないテーブルコンロを保有している消費者に対して、同装置付きコンロへの取り替え及びガス漏れ警報器の電源差し込み確認を周知した。

2. 簡易ガス事業

【ガスふろがま（密閉式自然給排気式:BF式）使用に伴うガス漏えい火災】

事故発生日：平成17年12月13日(火)

うるま市内の県営団地の一室において、当該住人がふろがま点火後、シャワーを出した状態でその場を離れしばらくたった頃、ふろがま天板部で火災が発生しているのに気がついた。火災は、消火器により鎮火し、負傷者はなかった。

当該ふろがまメーカーの調査によると、ふろがま内部のガバナ部分が腐食ひび割れを起こし、ガス漏れが発生し火災に至ったとの結論であった。（なお、ガバナ部分の破損は、機器の天板部からの水侵入によるアルミ腐食により割れが起こったと考えられるが、機器内はシール構造により水の侵入を防いでいるため、今回の侵入の原因は特定できなかった。）

再発防止対策として、メーカーにより同型機種設置箇所を全戸点検することとなった。